

## 核物質防護に関する不適合情報

2025年1月14日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	協力企業作業員が、試運用中の入域制限エリアに誤って入域したことを、見張り人が確認した。 その後、見張人が速やかに現場に向かい、当該作業員を退域させた。 調査の結果、試運用中の周知・表示の仕方に課題があることが分かった。 対策として、核物質防護の重要性に関する再教育や、入域制限エリアであることがわかるよう注意表示を見直した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/5/17	
2	当社社員が、専用のエリアにあるパソコンで、秘密情報の改訂作業を行っていた。 その際、改訂中のデータは秘密情報として台帳登録する必要があったが、実施していなかったことを確認した。 速やかに台帳登録を行い、関係者に秘密情報になりうる情報については管理が必要となる旨の教育を実施。 なお、当該データは専用のパソコンにて適切に保管されており、流出等は発生していない。	2024/6/21	
3	当社社員が、試運用中の入域制限エリアに、誤って入域したことを、見張り人が確認した。 その後、見張人が速やかに現場に向かい、当該社員を退域させた。 調査の結果、試運用中の周知・表示の仕方に課題があることが分かった。 対策として、核物質防護の重要性に関する再教育や、入域制限エリアであることがわかるよう注意表示を見直した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/8/8	

4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器取り付け部の一部に腐食を確認したことから、当該箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入検知機能は維持できていたこと、及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/11/30	
2	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/10/30	
3	監視カメラのケーブルの外皮に損傷を確認した。監視機能は維持。 調査の結果、経年劣化による損傷であったことから、当該不具合箇所を補修し、正常な状態に復旧した。	2024/11/14	
4	正門にて警備員が、通行証を所持していない車両を発見した。 調査の結果、通行証の取り扱いルールに関する理解不足が原因であったことから、当該企業については再発防止対策を実施している。 なお、当該通行証の不正使用は確認されておらず、当該通行証は回収済みである。	2024/11/25	
5	入構証発行用のプリンターが、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、経年劣化による不具合であったことから、当該プリンターを交換し、正常な状態に復旧した。	2024/12/11	